

農政の動き 2015年1月30日～2月4日

◇米の相対価格 1万2142円で最安値更新◇

農林水産省は、2014年産米の12月の相対取引価格（全銘柄平均）は、前年同期比16.7%（2440円）安の60^キ。当たり1万2142円と発表した。前月比では0.2%（20円）安となり、情報提供を開始した06年産米以降で最安値を更新した。産地品種銘柄別では、前月も取引のあった90銘柄中、富山「てんたかく」が前月比6%高となるなど36銘柄が上昇した。一方、東北や関東の一部銘柄は依然1万円を下回っており、最安値は群馬「あさひの夢」の8757円だった。（2015年1月30日）

◇12月からの大雪被害 ハウス破損1564件◇

農林水産省は、昨年12月からの大雪などによる農林水産関係の被害状況を発表した。農業分野では、農作物の損傷は18府県1154^ヘ、農業用ハウスなどの破損が21道府県1564件などとなっている。また、2014年8月豪雨（7月30日～8月26日）の被害状況を更新した。農業関係の被害総額は332億円で、うち農業用施設の損壊が153億円（6499カ所）、農地の損壊は97億円、農作物の損傷が57億円、農業用ハウスなどの損壊は20億円などだった。（30日）

◇韓国で口蹄疫拡大 牛豚8万頭を殺処分◇

韓国農林畜産食品部は、昨年12月3日以降の口蹄疫の発生が16の市・郡で71件（豚69件、牛2件）に上ったと発表した。殺処分は合計8万74頭で、感染が広がり続けている。（2月2日）

◇MA米の第6回入札 落札率4.7%にとどまる◇

農林水産省は、ミニマムアクセス（最低輸入量、MA）米の2014年度第6回売買同時入札（SBS取引）結果を公表した。予定数量の3万^トに対し、落札は1395^ト（落札率4.7%）にとどまった。国産米の価格下落などが影響した。一般米の加重平均価格はキロ当たり224円だった。（3日）

◇14年度補正予算 成立農林水産は2781億円◇

地方への好循環拡大を掲げた緊急経済対策を柱とする2014年度補正予算が参院本会議で可決、成立した。農林水産関係は2781億円で、公共事業が667億円、非公共事業は2113億円を措置する。米価下落対策では、米の生産コスト削減の取り組みを支援する稲作農業の体質強化緊急対策事業に200億円を計上した。畜産・酪農の競争力強化では「畜産収益力強化対策」に201億円を措置し、畜産クラスター計画に位置付けられた中心経営体の収益向上などに必要な機械のリース整備などを支援する。新規就農・経営継承総合支援事業は58億円を計上、先端ロボットの開発・普及は31億円を確保した。（3日）

◇農水省 今国会提出予定の4法案を説明◇

農林水産省は、自民党農林関係合同会議で今国会への提出予定の4法案の概要を説明した。農協改革等関連法案は、農協法と農業委員会法、農業生産法人の構成員などを見直す農地法の改正案を一体で提出。農林水産省設置法の一部改正案は、輸出業務を地方農政局などの所掌業務に追加するほか、地域センターを廃止し、「地方参事官」を各県庁所在地に配置する。独立行政法人改革の推進に伴う関係法案は、種苗管理センター、農業生物資源研究所、農業環境技術研究所を農業・食品産業技術総合研究機構に統合する。(4日)